

報告事項【平成29年度事業報告】

平成29年度 とうほく自動車産業集積連携会議 事業報告

「とうほく自動車関連産業振興ビジョン～東北復興に向けた更なる自動車産業の振興に向けて～」の戦略に基づいた取組

1 【戦略Ⅰ】幅広い分野の企業集積

■関連企業の進出促進

・知事が連携したトップセールス

トヨタグループ向け展示商談会の開催に併せて、平成30年2月に新潟県や北海道を含めた8道県の知事等がトヨタ自動車㈱本社を訪問し、河合副社長、西村常務役員、トヨタ自動車東日本㈱の白根社長など同社の幹部と懇談しました。

自動車関連産業の一大拠点化に向けた「とうほく」の連携した取組についてアピールしました。



・新聞広告等掲載

東北7県の自動車関連産業集積に向けた取組を中京地区等へPRするため、新聞に広告記事等を掲載しました。

中部経済新聞：平成30年1月25日付け「東北自動車産業」特集

商談会開催及び当連携会議のPR広告等を掲載

中部経済新聞：平成30年1月30日付け「展示商談会」開催広告掲載



中部経済新聞：平成30年1月25日付け「東北自動車産業」特集



中部経済新聞：平成30年1月30日付け
「展示商談会」開催広告掲載

・東北域外との連携

■アイシン北海道「参入交流会・工場見学会」

◇と き：平成30年2月13日（火）

◇ところ：アイシン北海道㈱（北海道苫小牧市）

◇参加者：75名

アイシン北海道㈱の工場見学会に東北各県の企業・機関が参加しました。

また、見学会終了後にはアイシン北海道㈱や道内の企業との懇談会を行い、交流を深めました。

■地場企業の参入促進

・展示商談会の開催、参加

■とうほく・北海道新技術・新工法展示商談会 ※新潟、北海道を含め8道県で開催

◇と き：平成30年2月1日（木）～2日（金）

◇ところ：トヨタ自動車㈱ 本館ホール（愛知県豊田市）

◇出展企業等：103企業・団体 ◇来場者：2,253名

トヨタ自動車㈱及びトヨタグループに対して、具体的取引や協力関係の構築を図るため、東北7県及び北海道の企業の持つ新技術や新工法等を提案・PRしました。

今年度は期間中2日間で2,253名の方にご来場いただき、初の取組として、8道県の技術を見える化する「とうほく・北海道ショーケースカー」を展示、優れた技術を一体的に情報発信し、好評を得ました。また、特別出展として、東北 KAT㈱より東北クラスターの形成、アイシン東北㈱からエンジニアリング事業部の取組を出展いただきました。

トヨタ自動車㈱副社長の河合満様からは「個々の出展企業の技術について興味深いものがあった。物流コストの低減に向け、ユニットを構成する個別の部品を東北地方で造ることができないか検討した方が良い。」とのコメントをいただきました。

※ 当連携会議としては、平成18年度開催の「いわて・みやぎ・やまがた新技術・新工法展示商談会」から数えて12回目のトヨタグループ向け技術展示商談会となりました。

◆商談結果 ※平成30年2月末（1ヶ月後調査）時点

道県名	出展企業数	商談成立	試作依頼	見積・図面依頼	後日訪問
青森県	5	1	2	3	7
岩手県	16	3	0	13	41
宮城県	22	1	11	18	25
秋田県	10	0	3	3	27
山形県	12	0	5	12	30
福島県	11	0	2	4	5
新潟県	15	0	6	9	34
北海道	12	1	4	10	13
計	103	6	33	72	182



■企業間交流・連携の促進

・総会・講演会等

■とうほく自動車産業集積連携会議 平成29年度総会・講演会

と き：平成29年7月10日（月）

ところ：ホテル青森 3階 「孔雀の間」（青森市）

参加者：約180名

講演：『トヨタが描くモビリティの未来』

トヨタ自動車㈱ 常務役員 榎 祐治 氏

平成29年度の総会・講演会は青森市で開催しました。

総会では、平成28年度実績報告のほか、役員選出や平成29年度事業計画について承認されました。

総会終了後には、トヨタ自動車(株) 常務役員 榎 祐治 氏をお招きし、「トヨタが描くモビリティの未来」と題し、自動車産業の未来や次世代技術、トヨタ自動車の今後の取組等についてご講演いただきました。



2 【戦略Ⅱ】競争力のある生産拠点

■設計開発機能の強化／生産技術の高度化／提案力の強化

・セミナー、勉強会等の開催

■自動車部品機能・構造研修

◇と き：平成29年6月28日（水）～平成30年2月23日（金）【7編13日間】

◇ところ：宮城県産業技術総合センター（仙台市） ◇参加者：のべ42社58名

自動車関連産業での取引拡大に向けて、製品開発力や提案力の向上を目指す企業を対象に、「エンジン」「ハイブリッド」「ボディ・ボディ電子」「シャシ・運転補助」の4分野について、トヨタ自動車東日本(株)で生産されている「シエンタ」等を活用し、各部品の分解を交えながら、部品の機能や構造を理解するための研修を開催しました。

研修には、東北7県及び北海道域内に事業所を有する自動車関連企業が参加し、自社が目指す開発の方向性やターゲット部品の明確化、新規参入・取引拡大に向けた意欲の醸成を図りました。



○ 青森県

ものづくり企業生産性向上セミナー

（平成29年6月7日（水） 青森市 参加者64名）

ものづくり企業の経営者層等を対象とし、IoTを活用した生産性向上の事例と、5S・QCD活動、製造現場の人材育成の必要性をテーマとしたセミナーを開催しました。



○ 岩手県

「下請取引契約・採用力強化セミナー」

（平成30年2月21日（水） 北上市 参加者41名）

新規企業の進出・立地企業の業容拡大が活発化する中、地場企業にも新規参入・取引拡大が求められていることから、下請取引契約の基礎についての理解を深めるとともに、人材確保・定着の取組を支援するため、セミナーを実施しました。



○ 宮城県

「宮城県次世代モビリティセミナー」

(平成30年2月8日(木) 仙台市 参加者120名)

次世代モビリティの今後の方向性について、トヨタ自動車㈱ 常務役員 榎 祐治 氏 にご講演をいただきました。また、東北大学 未来科学技術共同研究センター センター長 教授 長谷川 史彦 氏より、近未来技術による地域と大学の新たな協業についての事例報告をしていただきました。



○ 秋田県

「品質管理セミナー」

(平成29年11月9日(木) 12月21日(木)、平成30年2月22日(木) 横手市ほか参加者72名)

公益財団法人あきた企業活性化センター プロジェクトマネージャー 上林 雅樹 氏を講師に迎え、県内3地区において、県内自動車関連企業や参入を目指す企業を対象に、製造部門における品質管理の基礎をはじめ、「日常管理」「安全管理」等を項目としたセミナーを開催しました。



○ 山形県

「山形県次世代自動車研究会」

(平成29年10月23日(月)、平成30年3月27日(火) 山形市ほか参加者92名)

次世代自動車に係るメーカーの技術動向等に関する知識の習得の場を提供することを目的に、一般財団法人機械振興協会経済研究所 研究副主幹 太田志乃 氏、(株)ディー・エヌ・エー オートモーティブ事業部 シニアマネージャー 山本 彰祐 氏を講師に迎え、電動化及び自動化についての理解を深めるためのセミナーを実施しました。

また、次世代自動車分野への新規参入・取引拡大を考えている県内企業を対象に、今後さらに市場拡大が見込まれる電気自動車の構造等に関する理解を深めるため、電気自動車勉強会を開催しました。



○ 福島県

「デンソー福島工場見学・セミナー」

(平成30年1月17日(水) 田村市 参加者34名)

(株)デンソー福島工場を見学するとともに、(株)デンソー福島 取締役社長 岩瀬 雅俊 氏ほかを講師に迎え、デンソー福島の取組を紹介いただくとともに、自動車産業参入についてのサプライヤーへの期待や次世代自動車に求められる電気・電子系の動向に関するセミナーを開催しました。また、講演の後、講師等への参加企業によるプレゼンセッション及び名刺交換会を実施しました。



○ 新潟県

「トヨタにおける自動車の研究開発の進め方等に関するセミナー ～トヨタの燃料電池自動車開発を例に～」

(平成29年7月6日(木) 新潟市 参加者40名)

技術研究組合FC-Cubic 専務理事 大仲 英巳 氏を講師に迎え、次世代自動車として注目が集まっている燃料電池自動車 (FCV) の研究開発の進め方や今後の課題等についてのセミナーを開催しました。



・アドバイザー等による指導・支援

各県のアドバイザー等による展示商談会出展企業への指導や、取引拡大及び共同受注のための企業連携などに対する指導・支援を行いました。

・研修会の開催

各県において、「とうほく・北海道新技術・新工法展示商談会」等の出展者を対象に、効果的な提案方法や展示例、展示商談会の活用方法などについて、実践的なセミナーを開催しました。

3 【戦略Ⅲ】次世代技術の開発拠点

■競争力を高める次世代技術の開発／研究開発の実用化

・とうほく・北海道ショーケースカープロジェクト

東北・北海道の8道県の技術を見える化し、地域が持つ部品製造のポテンシャルを強くアピールする「とうほく・北海道ショーケースカープロジェクト」を立ち上げ、とうほく・北海道新技術・新工法展示商談会(H30.2.1～2)において、8道県の優れた技術を一体的に情報発信し、好評を得ました。

ショーケースカー搭載 企業数・部品数

道県名	企業数	部品数
青森県	5	18
岩手県	22	69
宮城県	21	54
秋田県	5	5
山形県	11	47
福島県	3	11
新潟県	6	15
北海道	12	17
計	85	236



・東北自動車イノベーション創出会議との連携

東北自動車イノベーション創出会議(東北経済産業局)と連携し、技術開発・人材育成・販路開拓等の課題解決を含めた自動車産業全般に係る振興方策等について、企業や有識者の方から意見をいただきました。

・中東北3県公設試技術連携推進会議（IMY連携会議）

自動車部材の加工技術高度化を目的に、5軸マシニングによる精密加工技術について、岩手、宮城、山形の3県公設試で取り組むとともに、自動車部材の軽量化を目的に、アルミニウム合金の組織制御による機械的性質向上や複雑形状製品の非破壊検査技術、3D積層造形機による鋳型製造技術、減圧凝固法による溶湯評価技術について、秋田県を含めた4県で研究開発を推進し、地域企業への普及を図りました。



4 【戦略Ⅳ】人材の育成・供給拠点

■人材育成の取組

産学官が連携し、高度化・多様化する自動車産業において求められる知識や技能を有する人材を、東北全体で継続的に育成することを目指し、各県で様々な人材育成事業を実施しました。

○ 青森県

多能工・熟練技術者養成研修

(平成29年6月～平成30年2月 参加者319名、41企業)

本県製造業を支える技術者の技術レベルの向上を図ることを目的として研修会を開催しました。



○ 岩手県

「学生フォーミュラ活動」

(平成29年4月～平成30年3月)

岩手大学、岩手県立大学及び一関高専の学生で「岩手連合学生フォーミュラチーム (SIFT) ※」を結成し、県内企業のバックアップのもと、マシンの企画から製作、走行試験などを学生主体で行い、フォーミュラ大会のEV部門に3年連続で出場しました。今大会ではおしくも優勝を逃してしまいましたが「ベスト電気回路賞」を受賞し、岩手のものづくり人材の優秀さを国内外に示しました。(※ 現在は岩手大学、一関高専2校で活動)

○ 宮城県

「みやぎカーインテリジェント人材育成センター事業」

(平成29年8月8日(火)～8月31日(木) 仙台市ほか 修了者57名)

環境対応や安全性の向上に伴い電子制御化が進む自動車業界において、将来の設計・開発を担う人材の育成を目指し、東北の大学や高専・専門学校の理工系の学生を対象とした講座を開催しました。

自動車業界で活躍している企業のエンジニアなどを講師に、講義・実習を行いました。

また、自動車関連企業で働くイメージを描くことを目的に、工場見学や業界研究セミナーも実施しました。



○ 秋田県

「第3期あきたクルマ塾」

(平成29年4月24日(月)～12月7日(木) 秋田市 参加者12名)

QCD等を推進する企業の中核的人材を育成するため、秋田県自動車産業アドバイザーの森 浩三 氏を塾長に迎え、第3期あきたクルマ塾を開講しました。

28年度からの継続事業となっており、自動車関連産業への参入や取引拡大に熱意を有する県内企業の中堅社員の方を対象とし、原価管理、製造の自工程完結など、10回にわたって講義していただきました。



○ 山形県

「自動車部品機能・構造研修」

(平成29年8月29日(火) 山形市 参加者18名)

プリウスの分解モデルを教材とし、自動車部品の機能・構造について学ぶとともに、今後の自動車産業の動向と求められる最新技術に関する理解を深めることにより、県内企業における新たなものづくり技術・製造工程の開発・改善を促進するための研修を実施しました。



○ 福島県

「若年定着ものづくり研修」(ふくしま若手リーダー育成道場)
(平成29年9月～平成30年2月 福島市ほか 参加者38名)
主催:福島県職業能力開発協会(福島県委託)

ものづくり企業の競争力強化を図るため、新入社員及び中堅社員を対象として講義と生産現場で行う現場実践等を組み合わせたカリキュラムを実施し、ビジネススキルの養成やリーダーシップ・マネジメント能力の向上、さらに生産・品質等に関する専門的スキルを高めるための研修を実施しました。



○ 新潟県

「自動車構造・機能セミナー ～ハイブリッド・燃料電池自動車～」
(平成29年8月22日(火)～23日(水) 新潟市 参加者52名(2日間延べ))

宮城県産業技術総合センター コーディネーター 萱場 文彦 氏を講師に迎え、新潟県次世代自動車産業振興協議会会員企業が今後の自動車関連産業への参入を目指すに当たり、自動車の構造・部品等について自社技術を活かせる要素技術を検討するため、自動車主要ユニットの分解モデルを用いて各部品の構造や機能を理解するためにセミナーを開催しました。



5 その他

「とうほく自動車関連産業振興ビジョン」改定に向けた検討の経緯

次期ビジョン(2018～2021)の策定に向けて、各道県の担当者等によるワーキングを開催し、今後の自動車関連産業の方向性等を検討しました。

開催日	名 称	概 要
H29. 6. 2	第1回ワーキング	・ 現行ビジョンの実績及び成果、各県の現状と課題について共有 ・ 次期ビジョンの位置づけ、名称、スケジュール等の検討
H29. 7. 26	第2回ワーキング	・ ビジョン策定の経緯及び現行ビジョンの達成状況の共有 ・ 次期ビジョン骨子の検討
H29. 11. 24	第3回ワーキング	・ 次期ビジョン骨子案検討
H30. 3. 20	意見交換	・ 次期ビジョン改定案について各県から意見集約

